

モバイルパスポートコントロール

増え続けるビジネスと渡航者の数に対応するため、米国税関国境取締局（CBP）は入国地におけるリソースを最適化し、米国市民に貢献する包括的な戦略を追求しています。この取り組みの一部として、CBP は、渡航者の米国入国プロセスを迅速化するために認可された最初のアプリケーション、モバイルパスポートコントロール（MPC）を開始しました。自動パスポートコントロール（APC）と同様に The app は、渡航者審査プロセスを簡素化し、CBP 審査官の事務的業務を軽減し、審査により集中できる手助けをします。この今までにない新しいアプリケーションは、エアサイド モバイルとエアポート カウンサル インターナショナル ノースアメリカ（ACI-NA）と CBP とのパートナーシップの元開発されました。



CBP は 2014 年 8 月 13 日に正式に MPC の試験プログラムをハーツフィールド ジャクソン アトランタ国際空港にて開始しました。条件を満たした渡航者はスマートフォンやタブレットを使用し、アップルの App Store または Google Play Store から the Mobile Passport Control app をダウンロードできます。渡航者はパスポート情報を使用して the app からプロフィールを作成するよう指示されます。プロフィールには氏名、性別、生年月日、国籍が含まれます。米国上陸時に、渡航者は到着する空港、航空会社を選択し“New Trip”セクションを完成します。その際写真を撮影し、税関申告書の質問に答えます。渡航者が the app を通して税関申告書を提出した後、暗号化されたクイックレスポンスコード（QR）が印刷された電子レシートを受け取ります。このレシートは発行四時間後に無効になります。渡航者は、その後、パスポートと電子バーコードレシートが印刷された携帯デバイスを CBP 審査官に提示し、米国入国への最終審査を終了します。

モバイルパスポートコントロールアプリケーションによって渡航者または家族グループに CBP 審査官と面接する前にバイオ情報を提出することができます。それによって CBP 審査官は、渡航者の身元確認、入国適確性、渡航目的及び意向を質問することに集中できます。このプロセスは究極的に渡航者の CBP 審査官との時間を減らし、サービス向上と待ち時間の短縮につながります。

MPC は CBP の陸上、航空、海上環境での活動様式を変換する CBP のリソース最適化戦略の一部です。革新への取り組みの一部として、CBP は昨年、[自動パスポートコントロール](#)を開始し、[I-94 用紙](#)を自動化、現在 22 箇所利用可能です。CBP はまた[グローバル エントリー](#)、[ネクサス](#)、[セントリ](#)のようなトラステッド トラベラープログラムにおいて 200 万以上の渡航者を登録しました。これらのプログラムはセキュリティを向上し、運営コストを削減しながら、CBP 職員が渡航者を安全にかつ効率的に処理する手助けをしています。